

授業概要

心理職としてのどの領域でも必要とされる精神医学の基礎知識に加え、特に医療保険領域で必要とされる知識を提供する。

まず精神疾患と身体疾患とを比較しつつ、精神疾患と精神医学について概観する。以降総論として、症状学、診断学、治療学について概説する。各論として、各種精神疾患について、さらに世代ごと性別ごとに特徴的な精神障害について説明する。最後に、精神医学に特徴的な社会とのかかわりについて説明する。

授業計画

第 1 回	精神疾患と精神医学
第 2 回	精神症状
第 3 回	診断
第 4 回	治療① 薬物療法
第 5 回	治療② 非薬物療法
第 6 回	精神疾患① 器質性精神障害・精神作用物質による障害
第 7 回	精神疾患② 統合失調症
第 8 回	精神疾患③ 気分障害
第 9 回	精神疾患④ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
第 10 回	精神疾患⑤ 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群
第 11 回	精神疾患⑥ 成人のパーソナリティおよび行動の障害
第 12 回	児童・青年期の精神障害
第 13 回	高齢者の精神障害
第 14 回	性と精神医学
第 15 回	精神医学と社会
第 16 回	筆記試験

到達目標

公認心理師試験出題基準「代表的な精神疾患の成因、症状、診断法、治療法、本人や家族への支援」「向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化」「医療機関への紹介」について説明できる。

履修上の注意

公認心理師国家試験受験のために単位修得が必要な科目である。

予習・復習

授業内容の確認

評価方法

学期末試験 100%

テキスト

参考書として「学生のための精神医学 第 3 版」太田保之・上野武治編（医師薬出版株式会社）
ISBN-10：4263235916 ISBN-13：978-4263235911